

2010JA/P300

Rotary Leadership Institute(RLI) Part III

プログラム概要

分科会 (セッション) セッションの課題と概要 DL・担当者

1	効果的なリーダーシップを発揮する為の戦略 (Effective Leadership Strategies)	
* 目的: RLI は、次の世代のクラブ指導者を育成するプログラムです。 効果的なクラブの構築を可能にするにはリーダーは如何にあるべきか、 リーダーシップを発揮するその手法、具体的な戦略立案を学ぶこと。		
2	世界平和への重要なステップ (世界社会奉仕とロータリー財団の活用) (World Community Service in Rotary)	
* 目的: 国際理解と国際親善を推進する国際奉仕プログラム。 世界社会奉仕プロジェクトに参加する恩恵と各種プロジェクト実施例。		
3	国際ロータリーのプログラム (Programs of Rotary)	
* 目的: 四大奉仕と RI 常設プログラムについて。バランスの取れた奉仕プログラムの開発、ポリオ・プラス特別プログラム、水・飢餓・識字など強調事項。 (注) 手続要覧第4章「ロータリーのプログラム一般」を中心としたセッション。		
4	創造的な奉仕 (Creative Service of Clubs)	
* 目的: 今後のロータリーの奉仕活動の在り方は如何にあるべきか。新しい視点で見た効果的な奉仕活動、青少年問題と米山記念奨学事業、環境に関する問題等について実例を中心に。		
5	効果的な広報活動計画とその実践 (Effective Public Relations)	
* 目的: 広報はクラブにどのような影響を与えますか。クラブとその活動の認知度を高める広報活動、効果的なマテリアルの配布、会員増強への効果を考える。		
6	ロータリーの倫理規範について (Practical Ethics of Rotary)	
* 目的: RI の組織規定文書は、ロータリー会員の民主的意思を体現するものであり、これらの条項を遵守する事が会員間の信頼の基本である。日常の職務を通して一般的な倫理観、法令順守をどう醸成するのか、十分な討議を期待します。 (注) Part II、「職業奉仕、倫理観の高揚と実践」と重複しない内容とする。		

RLI PartⅢ セッション1「効果的なリーダーシップを発揮する為の戦略」
(Effective Leadership Strategies)

「本セッションの目的」

それぞれの個性を持った人たちの集団であるロータリー・クラブは、クラブ活性化の源であると同時に、ロータリー・クラブ特有の資産でもあります。しかし、そのクラブを纏めるリーダーに対しては幾つかの運営課題も提供します。クラブ・リーダーが、それぞれの環境の中で、達成すべき目標の提示を行い、そのための具体的なアクションプラン提案、クラブを構成する全ての人の十分な理解と協力を得ることは、容易な課題ではありません。リーダーとしての能力と支援を得るためのコミュニケーションスキルの向上を学びます。

「主な質問事項」

1. 先ず、討議に先立ち、「具体的な課題」を明確にします。例えば次のような課題です。
『会員がここ数年、大幅に減少している。委員会活動に活気がない、奉仕にも、親睦活動にも消極的な会員が多い、当然出席率が悪い、会員増強を叫んでも見向く人が居ない、何人かの積極的な人も疲れてやる気が落ちて来ている・・・』といった課題です。

さて、関係者を集めての会議です。この会議の通知は何時されましたか？ リーダーはどの問題から始めますか？ 招集者は全て出席しましたか？ 欠席者が居たとすればそれは何故でしょう？ 会議の目的（討議の課題）は明示されて明示されていなかったか？
 2. この討議のために用意する資料は何でしょうか？
 3. 会議の設営に関して、前以って誰かと相談はしましたか？
 4. この会議に最も影響力を持っている人が、明確になっていますか？ その人は出席されていますか？ どんな意見を持ち、どんな発言をするのか判っていましたか？
 5. この会議の「到達点」を描いていましたか？ それは複数ですか？それぞれの到達点の間に関連はありますか？ アクションリストは？ それぞれの行動計画のリーダーは誰でしょうか？ 達成可能と誰もが考える内容でしょうか？
 6. ところで、「あの人に逆らうと怖いと思わせるのもリーダーシップを支える一つの要素」との言葉もあります。どう考えますか？
- (注) 上記課題は例題に限りません。DLの得意な課題（分野）で構いません。

2010JA/P3S2

R L I P a r t III セッション2「世界平和への重要なステップ」

(世界社会奉仕とロータリー財団の活用)

「本セッションの目的」 (討論を開始するに当たり、この目的を十分に理解をしてもらう)

第4番目の奉仕「国際奉仕」の指針に基づき理解するのが大きな目標であります。

世界に於ける最も国際的な奉仕を中心にするロータリークラブとして、国際奉仕は極めて重要であり、地域社会と国際奉仕の間のバランスを保ちつつ各々のクラブの活動の一部としなければならないと考えます。

国際奉仕はロータリー財団からのWCSプロジェクトに対する財源利用も大きな特徴であります。

国際奉仕の為の機会や活動のアイデア、WCSプロジェクトの立案作成もしてみましょう。

「主な質問事項」

- 1.. ロータリーの綱領の第四「国際奉仕」について確認してみましょう。
2. 国際奉仕とは何ですか。
 - A. 国際奉仕の目指すものは何ですか。
 - B. どうして私達の地域社会以外にも関心を持つ必要があるのでしょうか。
3. 国際奉仕の機会。
 - A. 国際奉仕活動を行うには、どの様な機会がありますか。
 - B. R Iの国際的なプログラムとは、どの様なプログラムですか。
 - C. 国際奉仕に於けるロータリー財団の役割は、何ですか。
4. 私達の職業技術を、どの様に国際奉仕に活かす事が出来ますか。
5. 世界社会奉仕(WCS)の開発について考えましょう。
 - A. 世界社会奉仕とは、どの様な奉仕ですか。
 - B. クラブに適したWCSプロジェクトをどうすれば見つける事が出来ますか。
 - C. クラブが利用出来る国際奉仕プロジェクトのリソースには何があると思いますか。
 - D. ロータリー財団のマッチンググラントを再確認して見ましょう。

2010JA/P3S3

RLI Part III セッション3 「国際ロータリーのプログラム」
(国際ロータリーの各種常設プログラム)

「本セッションの目的」

国際ロータリーのプログラムおよび奉仕の機会、ロータリアンがそれぞれの地域社会におけるニーズに応え、また世界中の人々を支援する目的で設置されています。インターアクト、ローターアクト、青少年交換など馴染みの常設プログラムから、世界社会奉仕(WCS)、更に、共通の関心事項を中心とした「世界ネットワーク活動グループ」(Global Networking Group)等について、プログラムの内容と、どう参加するかを討議します。

「主な質問事項」

1. 先ず、「RIのプログラム」について伺います。これはロータリーの一般的な奉仕プログラムの中で、どのような位置付けですか？
2. そのRIプログラムには、どんなものがありますか？
3. そうしたRIプログラムに対し、あなたのクラブではどんな対応(参加)をしていますか？
4. さて、その対応(参加)しているプログラムに対するクラブでの評価はどうでしょうか？ もし、問題があるとすれば、それは何でしょうか？
5. 「Global Networking Group」(世界ネットワーク活動グループ)と言う比較的新しいプログラムをご存知ですか？このプログラムの背景に有るものは何でしょうか？
6. 「World Community Service」(世界社会奉仕プロジェクト)についても同様に伺います。このRI常設プログラムはどの様なものですか？ 海外のロータリークラブとのタイアップで実施する問題点は何でしょうか？
7. もう一つ、「Rotarian Fellowship」(職業奉仕やリクレーション志向のプログラム)と言うプログラムがあります。ご存知でしたか？
8. RIプログラム全体について、「今後、どの様に有るべき・・・」とお考えですか？ご意見を伺います。

RLI PartⅢ セッション4 「創造的な奉仕」

(Creative Service of Clubs)

「本セッションの目的」

元RIビル・ハントレイ会長（1994-95）は「自らが地域社会に入り込み、人々と話し合う事によって、地域社会の関心事を探るべき」と述べておられます。

他方やはり元RIグレンW. キンロス会長（1997-98）は「飢餓・貧困・識字等世界には大きな解決しなければならない問題が山積している。寄付金の増強も含め、もっと大きな奉仕活動を他の組織をパートナーとしてプロジェクトを完成すべき」と私達に大きな問題点を示唆されております。日本独特のP-1/2で取り上げた「米山記念奨学事業」は世界で大変評価されている奉仕事業の例もあります。

- ① この時間は、ロータリーに於ける奉仕の概念を探求してみましょう。
- ② どのようなタイプの奉仕活動がロータリーに活力を与えるかを考えましょう。

「主な質問事項」

- 1 自分たちが今実施している奉仕活動や寄付増強活動を例に考えながら創造的であると思う事柄を発表しましょう。
- 2 上記の発表された活動事項の長所、短所について検討しましょう。
- 3 地域社会に出かけ、何を必要としているかニーズを探り、どの様に活動したら良いかを討論しましょう。
 - A) 今まで地域調査のような事をしましたか。どのような内容ですか。
 - B) これを行う為の問題点がありますか。
 - C) 資金調達まで考えましたか、どのような調達方法がありますか。
 - D) 協力をお願いする地域団体、及び他にどの様な団体が考えられますか。
 - E) クラブが奉仕活動を立ち上げるには、どの様な手順が必要ですか。
- 4 私達の奉仕活動は募金も含めて他の団体と、どう違いますか。
- 5 国際的な奉仕活動に繋げるには、どの様な点に留意しますか。
- 6 世界社会奉仕を良く理解する必要性がありますが、あなたのクラブではどの様なプロジェクトがありますか。 （過去・現在・今後の計画）
- 7 他に、各地区とも適切と思う事柄を討論してみてください。

RLI PartIII セッション5 「効果的な広報活動計画とその実践」

「本セッションの目的」

国際ロータリーは、ロータリーに対する内外の認識と公共的イメージを高める為、公共情報キャンペーンを組織の内外で実施すると同時に、あらゆるレベルにおいて、ロータリーの取り組みとその活動の成果を率先して世界に語り伝えるとしています。こうした広報活動がクラブにどのような影響を与えるのか、また、クラブとその認知度を高める広報活動は如何にあるべきか、効果的なマテリアルの配布、更には、そうした広報活動が会員増強活動に与える効果などについて討議を目的とします。

「主な質問事項」

1. 先ず、最初に伺います。 あなたの地域社会では、ロータリーは、そしてあなたのクラブはどんなイメージを持たれていますか？
2. クラブの奉仕活動を計画するに当たって、その目的、活動の内容、そしてその成果をどう公に伝えるか、広報まで考慮していますか？
3. ロータリーの広報活動は、会員増強活動にどのような影響を与えていますか？クラブの広報と地域社会のロータリーに対する認知度はどうですか？
4. クラブが、他の広報機関（例：新聞社、放送メディアなど）を利用していますか？そうした広報股間と連携を持つにはどうしたら良いでしょうか？
5. 広報活動を改善し、より効果的なものにする為にはどうしたら良いでしょうか？具体策はありますか？ RI などで作成されたパンフレットなどをクラブで活用した事がありますか？

新聞や地域の広報誌にクラブの活動が掲載された事がありますか？

最近、RI では、ビデオ、CD などの媒体を使用しています。あなたのクラブでも使用されていますか？

RLI Part III セッション6「ロータリーの倫理規範」

「本セッションの目的」

「倫理」とは、道德の規範となる原理であり、ロータリーで言う倫理とは観念論ではなく、自分の日常の生き方を反映させるべき「規範」と考えます。更に、ロータリーの綱領の基本である「有益な事業の基盤として奉仕の理想を鼓吹、育成する」職業奉仕とは表裏一体の関係にあり、ロータリーそのものが倫理運動でもあると理解しています。このセッションでは、有益な事業の企業人であるロータリアンが、討議を通して、如何にして高い倫理観を形成し、実践していくかを互いに学ぶことを目的と致します。

「主な質問事項」

1. 先ず、基本的は質問です。少し抽象的ですが、「ロータリー活動の根底に倫理が有る」と言われるのは、何故でしょうか？
2. 企業倫理の3点セットに①法令順守、②企業統治、③CSR（企業の社会的責任）がありますが、現実に厳しい経営環境の中で、企業人であるロータリアンは如何に行動すべきでしょうか？
3. コンプライアンス（法令順守）さえ確立されていれば良い・・・とお考えでしょうか？もし、「否」だとすれば、何が必要とお考えですか？
4. 企業は収益を求める事業体であり、唯一の社会的な責任は利益を求め、それを高めることだ・・・という意見があります。どう思われますか？
5. 法を犯し、逮捕されるロータリアンがあとを絶ちません。何故でしょうか？ RI 会長はロータリアンに対し「高潔」を重んじるべきと説いています。これは、具体的にどのような意味を持っていますか？
6. ロータリアンの中に「四つのテスト」の基本が充分浸透されていますか？ロータリーの実践倫理の手順として、語呂合わせですが、次のようなことが言われています。

(R・O・T・A・R・Y の6ステップ。ご参考まで)

R- Recognize and ethical issue

O- Obtain information about the situation

T- Test alternative action from various ethical perspectives

A- Act consistently with your best judgments

R- Reflect on your decision after acting

Y- Yield to your ethical judgments

Rotary Leadership Institute (R L I) Part 4

卒後コース/プログラム 《案》

以下はたたき台としてご提案させて頂くテーマで各地区で必要と考えられる課題を決めて頂ければよろしいのではと考えます。ただし1・2・3については本部の定められたテーマを挙げました。

○ セッションⅠ ロータリー財団

- ① 寄付とプログラム支出のお金の流れ
- ② シェアシステムの具体例
- ③ 地区補助金およびマッチンググラントの申請書と報告書の書き方
- ④ これからのロータリー財団の方向 「R財団の未来の夢計画」とは

○ セッションⅡ 変化するロータリーとRLIの評価検討

参加者の体験を振り返り、RLIで学び、精錬された方法を用いて、プログラムへ提案される変化への影響を討論し変化に対応しステップアップを図る

【例 参加者の中からリーダー、書記を選び討論を進める】

○ セッションⅢ リーダーシップとスピーチ研究

○ セッションⅣ ロータリーの未来を描く長期計画とは

- ① 国際ロータリーの使命
- ② 国際ロータリーのビジョン
- ③ 中核となる価値観とは
- ④ 国際ロータリーが掲げる優先項目と目標について

このセッションは予め全員に講演などで全体像を示してから、分科会で討議される方が良いでしょう。【朝礼の際、特別講演の時間をとる】

○ セッションⅤ 卒業コースに参加した人達のRLIに対する協力は

終礼の時間に参加者全員で討論の場をもつ

○ セッションのその他追加項目。 ご提案下さい